

◆編集・発行
茨城県 茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和元年6月末現在
男 16,389人
女 16,254人
総人口 32,643人
世帯数 13,274世帯

- ◆茨城町民憲章
- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
 - 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
 - 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
 - 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
 - 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 ウグイス

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.84 アオイトトンボ

学名 *Lestes sponsa* (Hannsemann)

写真・文 小菅 次男

8月になると、茨城町の明るく開けた水生植物の多い池沼には、ギンヤンマが岸辺を飛び回り、水辺の植物の間にはイトトンボ類が多く見られますが、それよりもひとまわり大きいアオイトトンボの姿もあります。

▼世界に広く分布

アオイトトンボ科はアフリカ北部からユーラシア大陸北部と世界に広く分布する小型〜中型種のグループで、DNA解析による研究では非常に古い時代に分岐したグループと言われています。

日本では北海道から九州まで広く分布し、3属7種が生息しています。

▼池沼に生息するトンボ

アオイトトンボは平地〜山地にかけて明るく開けた植物の多い池沼を好み、高山の池沼にも見られます。

体長42〜46mmで、体は背面が金緑色で、オスは成熟すると胸の所が黒くなり、後に白粉を帯びて来ます。メスは一般には白粉を帯びません。似た仲間のオオアオイトトンボとコバネアオイトトンボにはこの白粉が無いことで区別されます。

▼止まり方が特徴的

一般にトンボは止まる時には翅を閉じるか開くかのどちらかですが、アオイトトンボは「ハ」の字型に翅を半開きにして止まるのが特徴です。

成熟オスは水辺の植物に止まりなわばりを持ち、交尾はそれら水辺の植物に止まって行われ、朝から午後まで長く観察できます。

▼卵の期間が長い

成虫の出現期は6月〜10月で、卵期間が6〜8か月と長く、幼虫期間は2〜4か月程度です。

卵で越冬し、産卵された植物の茎は枯れて水中に倒れ、翌春卵が孵化します。越冬卵は30℃の低温にも耐える事ができ、寒冷地にも適応しています。温度が高いときは2週間程度で孵化することもあり、西日本の個体は大型で、黒化する傾向があると言います。

ちびっ子アート ひめま保育園



「おともだちといった
たのしかったえんそく」
やまうち たいき (6歳)



「たのしかった
おとまりほいくのスイカわり」
はたい みく (5歳)